

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 富士テクニカ宮津  
 コード番号 6476 URL <http://www.fuji-miyazu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 企画部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 和久田 俊一  
 (氏名) 大島 裕二

TEL 055-977-0401

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	4,532	—	648	—	724	—	798	—
25年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	72.94	48.88
25年3月期第2四半期	—	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	16,513	4,221	25.6	188.88
25年3月期	17,785	3,423	19.2	115.94

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 4,221百万円 25年3月期 3,423百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	△0.3	900	1.9	1,000	0.8	1,000	△9.1	91.36

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社の主要売上品目である自動車用プレス金型は、各プロジェクトの売上計上時期が変動し易く、その若干の伸長が当社の期間損益に少なからず影響を及ぼすため、第2四半期累計期間の業績予想は非開示とさせていただきます。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	10,946,007 株	25年3月期	10,946,007 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	1,661 株	25年3月期	1,636 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	10,944,346 株	25年3月期2Q	10,944,386 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳及び配当金総額は以下のとおりであります。

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
A種優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
26年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
26年3月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

発行済株式数(A種優先株式)

期末発行済株式数：26年3月期第2四半期 299,255株

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	2
4. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における世界経済は、米国においては緩やかな回復基調が見られておりますが、新興国においては中国を中心に経済成長の鈍化傾向が見られ、また、欧州では債務問題の長期化等により依然として先行き不透明な状態にあります。一方、わが国経済は、新政権による金融・経済対策の効果に対する期待感から景気回復への期待が高まっているものの、海外景気に対する不安感や円安進行による原材料価格の上昇など国内景気の下振れ懸念があり、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社におきましては、管理体制を引き続きより強化することにより個別案件の採算性向上に努めたほか、全社挙げての更なる固定費の削減、製造工程見直し等による原価低減を進めるとともに、生産性及び品質の更なる向上に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間における売上高は4,532百万円、営業利益は、過去の引当戻し276百万円を含め648百万円となりました。営業外損益においては、海外関連会社等からの受取配当金145百万円を計上した結果、経常利益724百万円、四半期純利益798百万円となりました。

(注) 第1四半期より四半期財務諸表を作成しております。前第2四半期は四半期連結財務諸表を作成し、四半期財務諸表を作成していないことから、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比して1,272百万円減少の16,513百万円となりました。これは主として、現金及び預金が1,021百万円減少したことによるものであります。負債については、前事業年度末に比して2,071百万円減少の12,291百万円となりました。これは主として、短期借入金が3,745百万円減少し、長期借入金が1,322百万円増加したことによるものであります。純資産については、前事業年度末に比して798百万円増加の4,221百万円となり、自己資本比率は前事業年度末に比して6.4ポイント増加の25.6%となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は3,467百万円となりました。

営業活動の結果、資金は1,072百万円の増加となりました。これは主として、税引前四半期純利益が811百万円あったほか、仕入債務の増加額が1,003百万円あった一方で、たな卸資産の増加額が950百万円あったことによるものであります。

投資活動の結果、資金は441百万円の増加となりました。これは主として、有形固定資産の売却による収入が554百万円あったことによるものであります。

財務活動の結果、資金は2,564百万円の減少となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出が6,838百万円ある中、短期借入金の純増額2,700百万円、長期借入れによる収入1,600百万円があったことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期の業績予想については、平成25年4月30日公表の業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,505	3,484
受取手形及び売掛金	2,234	1,476
仕掛品	4,859	5,810
貯蔵品	16	16
その他	202	293
貸倒引当金	△177	△190
流動資産合計	11,641	10,890
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,470	1,230
機械及び装置(純額)	271	251
土地	1,901	1,643
リース資産(純額)	76	61
その他(純額)	80	106
有形固定資産合計	3,799	3,293
無形固定資産		
のれん	758	737
ソフトウェア	251	253
リース資産	37	29
その他	11	23
無形固定資産合計	1,058	1,044
投資その他の資産		
投資有価証券	114	114
関係会社株式	493	493
関係会社出資金	670	670
長期貸付金	282	267
その他	7	5
貸倒引当金	△282	△267
投資その他の資産合計	1,286	1,284
固定資産合計	6,144	5,622
資産合計	17,785	16,513

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,079	2,082
短期借入金	6,856	3,110
リース債務	49	45
未払金	162	62
未払法人税等	8	9
未払費用	785	675
前受金	1,752	1,685
賞与引当金	379	217
工事損失引当金	219	37
事業構造改善引当金	139	65
その他	63	220
流動負債合計	11,498	8,213
固定負債		
長期借入金	1,038	2,360
関係会社長期借入金	115	—
リース債務	71	49
繰延税金負債	15	15
退職給付引当金	1,623	1,651
固定負債合計	2,863	4,077
負債合計	14,362	12,291
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,081	3,081
資本剰余金	13	13
利益剰余金	342	1,140
自己株式	△13	△13
株主資本合計	3,423	4,221
純資産合計	3,423	4,221
負債純資産合計	17,785	16,513

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	4,532
売上原価	3,516
売上総利益	1,016
販売費及び一般管理費	367
営業利益	648
営業外収益	
受取利息	3
受取配当金	145
為替差益	43
その他	32
営業外収益合計	224
営業外費用	
支払利息	61
シンジケートローン関連費用	83
その他	3
営業外費用合計	148
経常利益	724
特別利益	
固定資産売却益	90
特別利益合計	90
特別損失	
固定資産売却損	3
固定資産除却損	0
特別損失合計	3
税引前四半期純利益	811
法人税、住民税及び事業税	13
法人税等調整額	△0
法人税等合計	13
四半期純利益	798



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第2四半期累計期間  
(自 平成25年4月1日  
至 平成25年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	811
減価償却費	151
のれん償却額	21
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△161
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△181
事業構造改善引当金の増減額(△は減少)	△74
退職給付引当金の増減額(△は減少)	28
受取利息及び受取配当金	△148
支払利息	61
シンジケートローン関連費用	83
為替差損益(△は益)	△28
固定資産売却損益(△は益)	△87
売上債権の増減額(△は増加)	757
たな卸資産の増減額(△は増加)	△950
未収消費税等の増減額(△は増加)	76
仕入債務の増減額(△は減少)	1,003
未払費用の増減額(△は減少)	△110
前受金の増減額(△は減少)	△66
その他	△102
小計	1,081
利息及び配当金の受取額	148
利息の支払額	△61
シンジケートローン関連費用の支払額	△83
法人税等の支払額	△12
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,072
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△75
有形固定資産の売却による収入	554
無形固定資産の取得による支出	△60
その他	23
投資活動によるキャッシュ・フロー	441
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,700
長期借入れによる収入	1,600
長期借入金の返済による支出	△6,838
その他	△25
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,564
現金及び現金同等物に係る換算差額	28
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,021
現金及び現金同等物の期首残高	4,488
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,467

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

四半期財務諸表を作成していないため、記載しておりません。

II 当第2四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

当社は、前事業年度において自動車用溶接治具事業を営む唯一の連結子会社1社の全株式を売却しております。よって、第1四半期会計期間において自動車用プレス金型事業の単一セグメントとなったため、記載を省略しております。